

一般演題1(O1) 倫理コンサルテーション1		
01-1	小林 雅美	A病院における倫理コンサルテーションチーム活動の現状
01-2	端 裕之	当院における倫理コンサルテーションの取り組み
01-3	中山 照雄	当院における臨床倫理コンサルテーションの取り組み
01-4	井上 和代	倫理コンサルテーションチーム活動報告
01-5	山川 徹	伊勢赤十字病院の倫理コンサルテーション事例のその後の経過と依頼者の感想やその波及効果
01-6	友田 安政	臨床倫理コンサルテーションチームの立ち上げから1年の間に対応した症例の傾向とチームによる助言内容の分析
一般演題2(O2) 倫理コンサルテーション2		
02-1	渡邊 裕子	地域におけるオンラインによる倫理カンファレンスの効果についての検討
02-2	金城 謙太郎	地域臨床倫理カンファレンスの現状と課題～神奈川臨床倫理カンファレンス～
02-3	小畑 亜由美	地域で育む倫理コンサルテーション活動の場づくりとメンバーの成長
02-4	北口 浩史	岡山県における地域での臨床倫理コンサルテーションの現状と課題
一般演題3(O3) 倫理コンサルテーション3		
03-1	望月 葉子	障害者総合医療療育施設における協働意思決定への取り組み
03-2	三浦 由佳里	臨床倫理コンサルテーションにおいて倫理支援を行うメンバーに求められるコンピテンシー
03-3	山澤 明子	医学的、社会的に非合理的な患者の意向を尊重することへの葛藤～臨床倫理コンサルテーションに期待される役割～
03-4	永澤 彩加	中小病院の入退院支援における倫理的課題の抽出
03-5	小林 いつか	未治療の精神病を抱える身体疾患合併症患者の倫理コンサルテーションの一事例 - QOLに配慮した意思決定のための支援 -

一般演題4(O4) アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 1		
04-1	橋本 容子	A県内における中小規模病院の看護師のAdvance Care Planning: ACP支援行動の実際と影響要因
04-2	橋本 容子	A県内における介護保険施設の看護師のAdvance Care Planning: ACP支援の実際と影響要因
04-3	斎藤 加代子	人生の最終段階に対する認識と準備状況の明確化 ～ACPアンケート調査を通して～
04-4	野原 良子	アドバンス・ケア・プランニングの啓発を目的としたドラマを作成して「ドラマ”今日からはじまる人生会議”」
04-5	大貫 優子	地域住民に向けたアドバンス・ケア・プランニング普及啓発活動モデルの構築
一般演題5(O5) アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 2		
05-1	一美 奈緒子	当院ACP推進チームの活動報告
05-2	宮 史卓	脳卒中連携手帳を利用したアドバンス・ケア・プランニングの取り組み
05-3	牧野 富美枝	糖尿病患者に対するアドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の行動意図と その影響要因の明確化
05-4	吉田 真由帆	急な心停止に至ったALS患者の蘇生に関する臨床倫理的検討
一般演題6(O6) 倫理教育・啓発1		
06-1	角 智美	急性期病院における看護師への倫理教育 - 倫理的感受性を育む5年間の取り組みと成果 -
06-2	恋水 諄源	緊急倫理コンサルテーション事例から得られる倫理教育と指針策定のニーズ
06-3	吉長 正紘	薬剤師の臨床における倫理的ジレンマと行動倫理学の教育的意義に関する考察
06-4	久田 敦史	オンライン会議システムを使用した倫理研修について
06-5	裏田 将志	院内倫理アドバイザー活動の現状と課題

一般演題7(07) 倫理教育・啓発2		
07-1	加藤 由希子	臨床看護師の倫理的感受性の属性別・対応別による評価の類似性
07-2	佐藤 香奈	DPC特定病院の看護部倫理委員会におけるがん看護専門看護師の活動
07-3	高橋 真美	A企業団に勤務する職員のミトンや抑制帯による身体拘束に対する意識調査
07-4	大熊 るり	「椅子に両手を縛られる」という身体拘束疑似体験を用いた集合研修について
07-5	武 ユカリ	医療現場における患者・家族からの暴力についての“報告”に関する文献調査
07-6	出森 智子	入院治療や検査の拒否（選択の自由）の院内対応
一般演題8(08) 在宅医療・ケア		
08-1	長尾 式子	地域で医療・ケアに携わる専門職が直面している倫理的問題
08-2	竹下 啓	在宅医療・ケアに従事する医師と看護師はどのような倫理支援を求めているか
08-3	堂囿 俊彦	在宅医療・ケアに関わる専門職は「尊厳」をどのように理解しているのか
08-4	山本 千明	在宅で鎮静を行った小児がん症例に対する倫理的検討
08-5	岡本 圭史	自宅復帰を強く希望する顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー患者に対する支援
一般演題9(09) 終末期・人生の最終段階		
09-1	齋藤 朝子	重度うつ病を合併した子宮体癌患者に対する多職種連携による治療計画と意思決定支援 —抗がん剤治療及び電気けいれん療法にてQOLが改善した事例—
09-2	清水 幸裕	情動的意思表示の自律性について
09-3	山田 恵子	緩和ケア病棟におけるインシデントの発生要因と課題
09-4	鈴木 美由紀	末期心不全患者と家族への意思決定支援
09-5	實金 栄	ステージD心不全患者への看護師のEnd of Life Discussionの実践実態
09-6	伊藤 聖美	手稻溪仁会病院における終末期状態にある患者への心肺蘇生術を行わない（DNAR）指示に関する指針策定後の実態調査

一般演題10(O10) 新型コロナ、認知症、せん妄		
O10-1	山崎 友香子	COVID-19重症患者家族を支援した看護師に対する専門看護師の倫理調整
O10-2	加藤 互	コロナ禍の臨床倫理コンサルテーションへの影響
O10-3	濱田 かおり	臨床倫理コンサルテーションチーム活動に求められる役割と今後の課題 -COVID-19を発症した身寄りが無い患者の関係者による倫理的合意形成を行ったケースを振り返って-
O10-4	藤尾 由貴恵	透析治療を拒否する高齢認知症患者への援助、今後の方針の統一を図って
O10-5	柏 潤耶	せん妄患者に対する経管栄養導入における倫理的葛藤
一般演題11(O11) 小児・周産期医療、遺伝情報		
O11-1	西嶋 志津江	6歳未満児の脳死下臓器提供における意思決定プロセス ～子どもの権利、家族の想い、医療者の社会的役割～
O11-2	山本 加奈子	無介助出産を希望する夫婦との関わりを通して助産師が経験した倫理的課題
O11-3	鈴木 みづほ	日本の医療現場における遺伝情報管理についての一考察